新聞程清研究所 NEWS RELEASE

一般財団法人静岡経済研究所 理事長 一 杉 逸 朗 静岡市葵区追手町1-13 TEL 054-250-8750 FAX 054-250-8770

2020年10月27日

2020年10~12月期 静岡県内主要産業四半期見通し調査 経済活動が再開されるなか、県内産業景気は回復途上に

静岡経済研究所(理事長 一杉逸朗)では、9月に実施した「静岡県内主要産業四半期見通し調査」の結果をとりまとめましたので、その内容をお知らせします。

現況

- ○県内産業の現況(2020年7~9月期)は、『好調』が「民生用電器部品」の1業種、『順調』の業種はなく、『普通』が「食品・飲料」「情報サービス」の2業種、『低調』が「製紙」「建設」の2業種となった。
- ○『不調』は「工作機械」「自動車部品」「二輪車部品」「住宅」「大型小売店」「自動車販売」「物流」「人材派遣」「観光・レジャー」「外食」の10業種となった。

今後の見通し

- ○10~12月期の見通しについては、「民生用電器部品」が『好調』から『普通』に二段階下降して、『好調』『順調』の業種がなくなり、『普通』が3業種となる。一方、「自動車部品」や「二輪車部品」など6業種が『不調』から『低調』に一段階上昇し、『低調』が8業種となり、『不調』が4業種まで減少する見通し。
- ○全国的に人々の往来が再開されるなど、新型コロナウイルスの感染拡大防止と経済活動の両立を目指しながら、日本経済は徐々に本来の姿を取り戻しつつある。一部で生産・消費活動が持ち直すなど、県内産業景気は回復途上にある。

業	種	業 界 天 気 現況 見通し (7-9月) (10-12月)
製	紙	
食品・負	飲料	○ → ○
工作機	械	
民生用電器	部品	→
自動車	部 品	→ (
二輪車	部 品	→ (
建	設	→ O
住	宅	
大型小	売 店	→ •
自動車	坂 売	→ O
物	流	→ •
情報サー	ビス	→
人 材 派	造	
観光・レジ	ヤ -	
外	食	$\begin{array}{c} (\sqrt{2}\sqrt{2}\sqrt{2}) \\ \sqrt{2}\sqrt{2}\sqrt{2} \end{array} \rightarrow \begin{array}{c} (\sqrt{2}\sqrt{2}\sqrt{2}) \\ \sqrt{2}\sqrt{2}\sqrt{2}\sqrt{2} \end{array}$

※本件のお問合せ先 担当 (大石 彰男)

経済活動が再開される中、県内産業景気は回復途上

業界景気の現況 (2020年7~9月期) -

県内産業の現況(2020年7~9月期)は、『好調』が「民生用電器部品」の1業種、『順調』の業種はなく、『普通』が「食品・飲料」「情報サービス」の2業種、『低調』が「製紙」「建設」の2業種で、『不調』は「工作機械」「自動車部品」「二輪車部品」「住宅」「大型小売店」「自動車販売」「物流」「人材派遣」「観光・レジャー」「外食」の10業種となった。

業界景気の見通し(2020年10~12月期) ---

10~12月期の見通しについては、「民生用電器部品」が『好調』から『普通』に二段階下降して、『好調』『順調』の業種がなくなり『普通』が3業種となる。一方、「自動車部品」や「二輪車部品」など6業種が『不調』から『低調』に一段階上昇し、『低調』が8業種となり、『不調』が4業種まで減少する見通し。全国的に人々の往来が再開されるなど、新型コロナウイルスの感染拡大防止と経済活動の両立を目指しながら、日本経済が徐々に従来の姿を取り戻しつつあり、一部で生産・消費活動が持ち直していることが背景にある。

本県の主力産業である輸送用機器では「**自動車部品**」や「二輪車部品」で生産体制が正常化しつつあり『不調』から『低調』に上昇、受注残を抱える軽乗用車などでは前年並みの生産水準が見込まれる。「物流」「人材派遣」や「自動車販売」も最悪期を脱して『不調』から『低調』に上昇する。また、内食需要の高まりで総合スーパーが堅調な「大型小売店」も『低調』に戻る見込み。

一方、今夏、猛暑などにより家庭用エアコンを中心に『好調』だった「**民生用電器部品**」は、増税後の反動で低調だった前年水準まで落ち込み『普通』へと二段階下降する見通し。コロナ禍による巣ごもり需要で前年並みの売上高が見込まれる「**食品・飲料**」、同じくコロナ禍でデジタル化需要が高まる「情報サービス」の2業種は『普通』のまま推移する。また、トイレ紙や段ボール原紙などコロナによる需要の増減に直面してきた「製紙」は、経済活動の再開とともに回復しつつあるものの前年水準には届かず『低調』のまま推移。民間の設備投資意欲が弱含む「建設」も『低調』で推移する見通し。

新型コロナウイルスの影響を大きく受けている「**観光・レジャー**」および「**外食**」では、政府による各種「GoToキャンペーン」や県内自治体などの需要喚起策に期待がかかるものの、感染予防のため、旅行や年末の忘年会を自粛する動きも予想され、いずれも『不調』のまま推移。所得・雇用などの先行き不安から購入意欲が冷え込んだままの「**住宅**」も『不調』が続く。生産面では、内外需ともに前年割れが続く「**工作機械**」も『不調』で推移する見通し。

2020年10~12月期 静岡県内主要産業四半期見通し調査一覧表

業種	業 界 天 気 現況 見通し (7-9月) (10-12月)	売 上 高 (前年開批伸び率)	主要産業の見通し
製紙	→ (*	回復の兆しはあるものの、前年水準には 達せず
食品・飲料		\Rightarrow	売上高は前年並みの見通しだが、巣ごも り需要の反動減に警戒
工作機械		*	内外需とも前年割れが続くが、中国向け など一部に持ち直しの動き
民生用電器部品	→ (->	家庭用エアコンは、増税後の反動で低調 だった前年並みで推移
自動車部品	→ •	*	全体としては前年割れだが、軽関連など は前年水準まで回復
二輪車部品	→ •	*	受注量は前年を若干下回るが、需要は持 ち直し傾向
建 設	→ (>	公共は発注遅れを取り戻す動きがあるが、 民間は前年割れが続く
住宅		*	所得・雇用不安から購入意欲が冷え込み、 着工戸数は前年割れ
大型小売店	→ •	\Rightarrow	総合スーパーは堅調、百貨店は所得環境 の悪化で低調
自動車販売	→ •	->	購入先延ばしなどみられ、大幅な回復は 見込めず横ばいの見通し
物流	→ •	*	輸送用機器などの低迷から、前年を▲5% 程度割り込む見通し
情報サービス	○ → ○	=>	デジタル化需要は底堅く、前年実績を確保
人 材 派 遣	→ •	*	引き続き製造業で派遣需要が低迷する見 通し
観光・レジャー		*	支援策は追い風だが、前年実績を確保す るまでには至らず
外 食		*	「Go To Eat」に期待かかるが、忘年会の 中止で法人需要は減少

表の見方

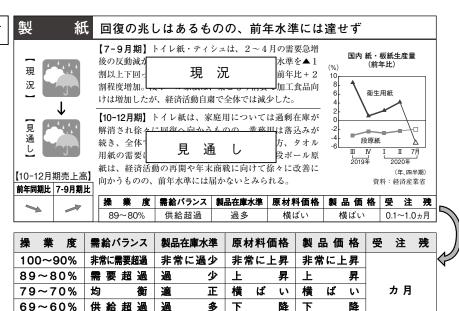
業界	天 気		売 上 高
好 調		低 調	非常に増加(+10%以上) 増 加(+3~+9%)
順調		不 調	→ 横ばい(+2~▲2%)
普 通			減 少(▲3~▲9%)非常に減少(▲10%以上)

静岡県内主要産業四半期見通し調査『現況』推移

	年	次	2017年		201	8年			201	9年			2020年	_
	四半	期	IV	I	Ш	III	IV	I	П	III	IV	I	П	
((対象 ○は調	.月 査月)	10~12	1~③	4~⑥	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~③	4~6	7~9
	全業種 F均階		2.75	2.85	2.85	2.95	2.90	2.90	3.15	2.90	2.65	2.30	1.67	1.67
	好調	: 5												
	順調	: 4												
	普通	: 3		-0	-					0				
	低調	: 2										0		
	不調	. 1												
	小训	· 1												
	好調		1	1	1	1	0	0	2	0	0	0	0	1
業	順調		2	2	2	3	4	4	3	5	3	2	1	0
種	普通		8	10	10	10	10	10	11	8	8	5	3	2
数	低調		9	7	7	6	6	6	4	7	8	10	1	2
	不調		0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	10	10

- 注1)「業界景気の現況」および「業界景気の見通し」は、対象企業経営者が業界景気動向をどうみているかを調査したもの。 調査は、毎年3、6、9、12月に実施。「業界景気の現況」とは、調査時点(9月調査であれば7~9月期)における 業況、「業界景気の見通し」とは、調査時点における翌期(9月調査であれば10~12月期)の見通しを示す。
- 注2) 調査方法は、アンケート調査とヒアリング調査による。アンケート調査の概要は、以下の通り。 調査時点…2020年9月上旬 回答企業…県内主要15業種(241社)
- 注3) 平均階級値は、好調: 5、順調: 4、普通: 3、低調: 2、不調: 1とする、15業種の平均値。 (2020年1~3月期までは20業種の平均値)

各業種および表の見方



非常に下降

非常に下降

非常に過多

非常に供給超過

59%以下

主要業種景況見通し

紙 回復の兆しはあるものの、前年水準には達せず

現 況





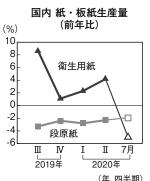
見 通



【10-12月期売上高】 前年同期比 7-9月期比

【7-9月期】トイレ紙・ティシュは、2~4月の需要急増 後の反動減が続き、増税前特需が発生した前年水準を▲1 割以上下回った。一方、タオル用紙は好調で、前年比+2 割程度増加。段ボール原紙は、巣ごもり消費で加工食品向 けは増加したが、経済活動自粛で全体では減少した。

【10-12月期】トイレ紙は、家庭用については過剰在庫が 解消され徐々に回復へ向かうものの、業務用は落込みが 続き、全体では前年水準を下回る見通し。一方、タオル 用紙の需要は旺盛で、前年を上回る見込み。段ボール原 紙は、経済活動の再開や年末商戦に向けて徐々に改善に 向かうものの、前年水準には届かないとみられる。



資料:経済産業省

操業	度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受	注	残
89~80%	, 0	供給超過	過多	横ばい	横ばい	0.1	~1.0	ヵ月

食品・飲料/製茶 売上高は前年並みの見通しだが、巣ごもり需要の反動減に警戒

- 食品・飲料

況





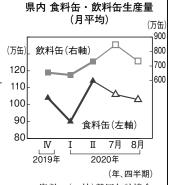
食品・飲料



【10-12月期売上高】 前年同期比 7-9月期比

【7-9月期】食品・飲料:県内食料缶メーカーの売上高 は、前年並みで推移した模様。巣ごもり需要を背景に家 庭向けの売上が堅調だった。飲料缶類の生産量は、低調 だった前年を若干上回った。製茶:製茶問屋の売上高 (万年) は、ドリンク向けの需要が落ち込み、前年を下回った。

【10-12月期】食品・飲料:県内食料缶メーカーの売上高 は、前年並みで推移する見通し。ただし、外出自粛や移 動制限の緩和に伴い、巣ごもり需要の反動減が懸念され る。飲料缶類の生産量は、台風災害などで受注が好調 だった前年実績を下回る模様。製茶:製茶問屋の売上高 は、歳暮など贈答需要が低調で、前年を下回ると予想。



資料:(一社)静岡缶詰協会

操	業	度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受	注	残
100~90%		0%	均衡	適正	横ばい	横ばい	0.1	~1.0;	ヵ月

工作機械 内外需とも前年割れが続くが、中国向けなど一部に持ち直しの動き

現 況





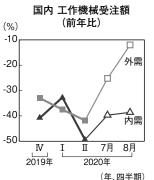
見 通



【10-12月期売上高】 前年同期比 7-9月期比

【7-9月期】全国および県内の受注額は、前年を▲20~ 30%下回って推移した模様。外需は、中国向けがすでに 前年を上回る水準まで回復したが、欧米市場は低水準で 推移した。一方、内需は、主力の自動車向けを中心に停 滞が続き、依然として厳しい水準となった。

【10-12月期】全国および県内の受注額は、前年を▲20% 程度下回る見通し。外需は、回復基調の中国市場に加 -40 え、欧米でも投資マインドの低下に歯止めがかかるとみ られる。内需も、自動車関連などで引合いが増加するこ とが見込まれるが、他国と比べて動きは鈍く、本格的な 受注回復には時間がかかりそう。



資料:(一社)日本工作機械工業会

需給バランス 業 度 製品在庫水準 原材料価格 製品価格 受 注 残 79~70% 供給超過 過多 構ばい 横ばい 0.8~10.0ヵ月

民生用電器部品

家庭用エアコンは、増税後の反動で低調だった前年並みで推移

現 況



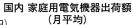
見 通

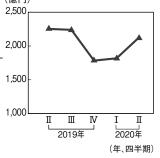


【10-12月期売上高】 前年同期比 7-9月期比

【7-9月期】県内の家庭用エアコンの出荷台数は、前年を +10%前後上回った模様。記録的猛暑で買替え需要が押(億円) し上げられたほか、在宅時間の長期化を受け、書斎や子 2500 供部屋向けの需要が上積みされた。また、冷蔵庫や洗濯 機の出荷額も前年をやや上回った。

【10-12月期】県内の家庭用エアコンの出荷台数は、雇 用・所得環境の悪化を背景に、消費増税後の反動で低調 だった前年並みの水準で推移する見通し。冷蔵庫は、内 1.000 食需要の増加に伴い、冷凍室のスペースを広げた大容量 モデルへの買替需要の拡大が見込まれ、前年をやや上回 るとみられる。





資料:経済産業省

操	業	度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受	注	残
89~80%)%	均衡	適正	横ばい	横ばい	1.0	~3.0	ヵ月

自動車部品

全体としては前年割れだが、軽関連などは前年水準まで回復

現 況





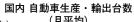


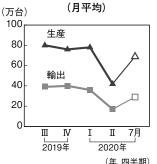


【10-12月期売上高】 前年同期比 7-9月期比

【7-9月期】全国の自動車生産台数は、前年を▲2~3割 下回った模様。部品調達問題はほぼ解消し、生産体制は 平準化しつつあるが、コロナの影響で内需・輸出ともに 100 伸び悩んだ。県内部品メーカーの生産量は、全体として は低調だったが、軽関連は前年水準近くまで回復した。

【10-12月期】全国の自動車生産台数は、前年を▲1~2 割下回って推移する見通し。内需は、先行きへの不安感 から伸び悩みが続くと予想。輸出も北米向けが回復基調 にあるものの、前年実績には達しないとみられる。県内 部品メーカーの生産量は、全体としては前年割れだが、 軽関連や登録車の一部では、前年水準を確保しそう。





資料:(一社)日本自動車工業会

操	業	度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受	注	残
79~70%)%	均衡	適正	横ばい	横ばい	0.1	~2.0	ヵ月

輪車部品

受注量は前年を若干下回るが、需要は持ち直し傾向

現 況





見 通

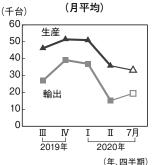


【10-12月期売上高】 前年同期比 7-9月期比

【7-9月期】全国の完成車生産台数は、前年比▲1~2割 減と、前年実績を割り込んだ。コロナ禍で生産調整に見 舞われた国内生産体制は正常化しつつあり、4~6月期 を底として最悪期は脱した模様。県内部品メーカーの受 注量も、前年水準を下回ったとみられる。

【10-12月期】全国の完成車生産台数は、前年比▲5%程 度減少する見通し。ただし、国内市場では400cc以上の比 較的大型の車種が上向きつつあり、主要輸出先である欧 米でも、オフロードバイクなどを中心に持ち直し傾向に ある。こうした状況下、県内二輪車部品の受注量は、前 年を若干割り込んだ水準で推移する見込み。

国内 二輪車生産・輸出台数



資料:(一社)日本自動車工業会

需給バランス 操業度 製品在庫水準 原材料価格 製品価格 受 注 89~80% 均衡 適正 構ばい 横ばい 0.5~1.0ヵ月

設 建 公共は発注遅れを取り戻す動きがあるが、民間は前年割れが続く

現 況





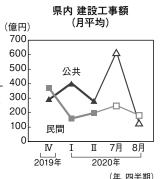
見 通



【10-12月期売上高】 前年同期比 7-9月期比

【7-9月期】県内の公共工事契約高は、前年並みで推移し た模様。感染防止対応で出遅れた発注を取り戻す動きがみ (億円) られた。国関係等と県関係は前年を上回ったが、市町関 係はやや下回った。民間の工事費予定額は、設備投資に 600 慎重な姿勢が続き、前年を下回った模様。

【10-12月期】県内の公共工事契約高は、前年同水準で推 移する見通し。県や市町で公共工事の見直しがあるも、 施行時期の平準化が求められる中、今期は積極的な発注 姿勢がみられそう。一方、民間の工事費予定額は、設備 投資意欲が弱含む中、受注活動は苦戦しており、前年を 下回って推移する見通し。



資料:国土交通省、建通新聞社

操	業	度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受	注	残
89~80%)%	均衡	適正	横ばい	横ばい	3.0	~9.9	ヵ月

住 所得・雇用不安から購入意欲が冷え込み、着工戸数は前年割れ

現 況







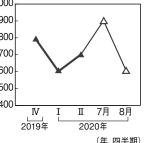


【10-12月期売上高】 前年同期比 7-9月期比

【7-9月期】県内の持家新設着工戸数は、前年をやや下 回った模様。コロナ禍による外出自粛で営業活動に制限 がかかるとともに、所得・雇用不安の顕在化によって住 2,000 宅購入意欲は冷え込んでいる。消費増税に伴う駆け込み 1,900 需要後に急減した前年水準にも届かなかったとみられる。 1,800

【10-12月期】県内の新設住宅着工戸数は、前年を下回る 見通し。展示場やモデルルームへの客足は戻りつつあ 1.500 り、住宅購入意欲の減退緩和が期待されるも、所得・雇 1.400 用への不安感は根強く、需要の回復には至らない模様。 貸家も、投資家のマインドは冷え込んでおり、低調に推 移する見通し。

県内 新設住宅着工戸数 (月平均)



資料:国土交通省

操	業	度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受	注	残
79~70%)%	供給超過	適正	横ばい	横ばい	3.0	~6.8	ヵ月

大型小売店 総合スーパーは堅調、百貨店は所得環境の悪化で低調

現 況





見 通



【10-12月期売上高】 前年同期比 7-9月期比

【7-9月期】県内大型小売店の販売額は前年を下回った。 百貨店は、新型コロナの感染再拡大や猛暑で来客数が落_(億円) ち込み、主力の衣料品を中心に前年を割り込んだ。総合 スーパーは、外食を控えて家庭で食事を取る消費者が増 加したほか、収納用品などの住関連品も伸長した模様。

【10-12月期】県内大型小売店の販売額は前年並みで推移 340 する見通し。所得環境の悪化が見込まれる中、百貨店は 消費増税後の反動で高額品が大きく落ち込んだ前年並み で推移する見込み。総合スーパーは、内食需要の強まり で飲食料品が堅調に推移するとみられ、全体の販売額は 前年をやや上回る見通し。

県内 大型小売店販売額 (月平均) 400 380 360 320 300 III IV П 2019年 2020年 (年、四半期)

資料:経済産業省

需給バランス 受 業 度 製品在庫水準 原材料価格 製品価格 注 残 供給超過 下降 下降

自動車販売 購入先延ばしなどみられ、大幅な回復は見込めず横ばいの見通し

現 況



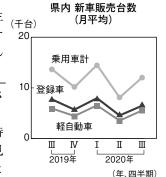


見 通

【10-12月期売上高】 前年同期比 7-9月期比

【7-9月期】県内の新車販売台数は、前年比▲11.9%と、 低迷が続いた。客足は前年比微減の水準まで回復し、生 (千台) 産調整による在庫不足も解消されたものの、新型コロナ による景気への先行き懸念から消費マインドは冷え込ん でおり、購買につながらないケースが多い。

【10-12月期】県内の新車販売台数は、消費増税が実施さ れた影響で販売台数が伸びなかった前年との比較では、 若干ながら増加する見通し。ただし、従来なら買替え時 期の車に乗り続け、購入を先延ばしする動きなども散見 され、当面、大幅な回復は見込めず、前期比で横ばいと なる見通し。



資料:日本自動車販売協会連合会静岡県支部 静岡県軽自動車協会

操	業	度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受 注 3	残
89~80%)%	均衡	適正	横ばい	横ばい	2.5~3.0 _b	月

物 流 輸送用機器などの低迷から、前年を▲5%程度割り込む見通し

現 況





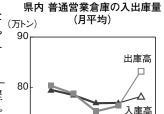




【10-12月期売上高】 前年同期比 7-9月期比

【7-9月期】県内のトラック輸送量は、輸送用機器や紙・ パルプなどの荷動きが鈍く、前年を▲5%程度下回った 模様。普通倉庫の入出庫高は、ウエートの高い鉄鋼や 紙・パルプが低調だったことから、前年を▲5%程度下 回ったとみられる。

【10-12月期】県内のトラック輸送量は、前年を▲5%程 度下回って推移する見通し。輸送用機器や電気機械など が前年割れとなる見込み。倉庫の入出庫高は、食品関連 は堅調な荷動きが見込まれるが、主力の鉄鋼や電気機械 で前年比減が予想され、全体では前年を▲5%程度下 回って推移すると見込まれる。



III IV

2019年

2020年 (年. 四半期) 資料:静岡県倉庫協会

Ⅱ 7月

操	業	度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受	注	残
79~70%)%	供給超過	_	横ばい	下降		_	

情報サービス デジタル化需要は底堅く、前年実績を確保

現 況





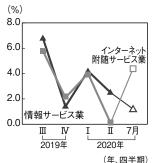


【10-12月期売上高】 前年同期比 7-9月期比

【7-9月期】全国および県内の売上高は、前年並みの水準 で推移した模様。コロナの影響でIT投資を見送る動き が一部でみられたものの、官公庁や金融などデジタル化 に向けた投資意欲が旺盛な業界が多い。全体としては開 発中案件の延期・中止は少なく、堅調な推移となった。

【10-12月期】全国および県内の売上高は、前年実績を確 保できる見通し。引き続きコロナ禍以前に受注した大型 案件が順調に進捗する見込み。感染拡大防止のための営 業活動の制限や、ユーザーの業績悪化で新規受注に例年 の勢いはないが、デジタル化需要は底堅く、業績を下支 えしそう。

売上高伸び率(前年同期比)



資料:経済産業省 「特定サービス産業動態統計調査」

操	業	度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受	注	残
100~90%			均衡	適正	横ばい	横ばい		_	

人材派遣

引き続き製造業で派遣需要が低迷する見通し

現 況





【見通し

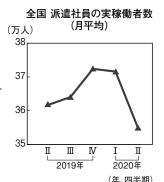


【10-12月期売上高】 前年同期比 7-9月期比

→

【7-9月期】県内の派遣社員の実稼働者総数は、前年比▲ 5%程度下回って推移した模様。製造業では生産調整や 一部休業していた事業所があり、派遣需要が伸び悩んだ ほか、営業やサービス職などでも派遣需要が前年を下 回った。

【10-12月期】県内の派遣社員の実稼働者総数は、前年を ▲ 5 %程度下回って推移する見通し。引き続き製造業の 派遣需要は低迷が続くとみられる。専門性の高い人材の ニーズは一定数あるとみられるが、全体を押し上げるまでには至らない模様。供給サイドでは、派遣先のニーズ を満たす人材をどれだけ確保できるかがカギとなる。



資料:(一社)日本人材派遣協会

操	業	度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受	注	残
79~70%			供給超過	_	横ばい	横ばい		_	

観光・レジャー

支援策は追い風だが、前年実績を確保するまでには至らず

現 況









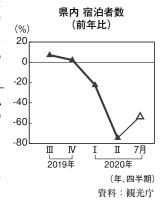
【10-12月期売上高】 前年同期比 7-9月期比

•



【7-9月期】県内主要旅館の総売上高は、前年を下回った 模様。春から続く旅行自粛の反動増に加えて、7月下旬 から始まった「Go To トラベル」が夏の旅行需要を後押し した。しかし、コロナの収束時期が見えない中、自粛の 動きも消えず、通期では前年水準までは戻らなかった。

【10-12月期】県内主要旅館の売上高は、前年を下回る見通し。国や県、市町による観光産業に対する支援策が宿泊需要を後押しするものの、感染予防のために旅行を自粛する人も一定数いるため、前年割れは避けられない。感染再拡大も懸念される中、当面は、感染者数の増減に旅行者心理が左右される状況が続くとみられる。



操	業	度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受	注	残
	_		供給超過		横ばい	下降		_	

外 食 「Go To Eat」に期待かかるが、忘年会の中止で法人需要は減少

現 況





【見通-

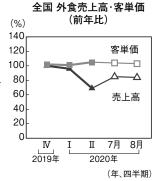


【10-12月期売上高】 前年同期比 7-9月期比

* >

【7-9月期】主要外食店の売上高は、前年を▲10~20%下回った。緊急事態宣言が解除され、売上高や来客数は前期から回復したものの、客席間の距離を確保するなど間引き営業の実施に伴い、回復ペースは限定的だった。一方、巣ごもり需要を背景に、出前・宅配は堅調だった。

【10-12月期】主要外食店の売上高は、前年を下回る見通し。10月から開始された「Go To Eatキャンペーン」などの需要喚起策により、売上高や来客数の回復に期待がかかる。個人需要は前期と比べて改善すると予想されるが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から忘年会の中止が予想され、法人需要は落ち込む可能性がある。



資料:(一社)日本フードサービス協会

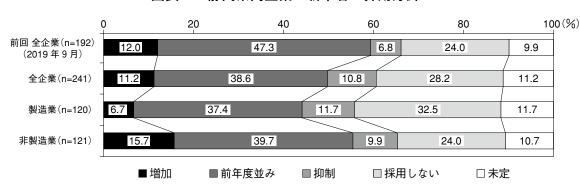
操	業	度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受	注	残
	_		供給超過	_	横ばい	横ばい		_	

特別調査

コロナ禍で、県内企業の新卒者の採用方針は抑制傾向が強まる

静岡県内企業に 2021 年度の新卒者の採用方針を尋ねたところ、20 年度より「増加」させる企業は 11.2%と前年(12.0%)と同水準にとどまる一方、「前年度並み」が 38.6%と前年(47.3%)を▲ 8.7 ポイント下回るとともに、「抑制」(<math>10.8%) との回答が前年(6.8%)から + 4.0 ポイント、「採用しない」(<math>28.2%) との回答も前年(24.0%)から + 4.2 ポイント増加するなど、コロナ禍による抑制傾向が浮き彫りとなった(図表 <math>1)。

業種別では、製造業で抑制傾向が強く、「採用しない」(32.5%)との回答が3割を超えた。 一方、非製造業では、「増加」と「前年度並み」が合わせて55.4%と半数を超えるなど、 新卒需要は底堅いとみられる。



図表 1 静岡県内企業の新卒者の採用方針

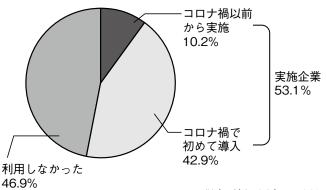
調查要領:調查時点2020年9月、調查対象企業592社、回答社数241社、有効回答率40.7%

オンライン通話など非対面による採用活動を、半数超の企業が実施

新型コロナウイルスは、県内企業の新卒採用方法にも大きな変化をもたらした。ウイルスの感染拡大防止が求められた今年度の採用活動で、SkypeやZoomといったオンライン通話を利用した非対面の採用活動の実施状況について、採用活動を行った196社に

確認したところ、「コロナ禍以前から 実施」が10.2%と、従来は1割程度だっ たが、「コロナ禍で初めて導入」した 企業が42.9%と4割を超え、合わせて 半数超の53.1%の企業が、今般のコロ ナ禍で非対面による採用活動を行い、 一気に新卒採用活動の主流となった (図表2)。リモートによる採用活動は、 首都圏など遠隔地の学生とのコンタク トにも適しており、今後も拡大が予想 される。

図表2 非対面による採用活動の実施状況 (n=196)



調査要領:図表1に同じ